

2022年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名： 社会保障論特論	
担当教員名： 大矢 奈美	
授業科目概要： 少子・高齢化の進展により、医療、介護、年金などといった社会保障制度の重要性が高まる中、現行の社会保障制度は限界を迎えていると言われ、政府内では新たな仕組みが検討されている。この授業では、社会保障とは何かについて考えるとともに、我が国の社会保障制度の概要を理解し問題点を把握すること、改正の方向を探ることを目的とする。 したがって、制度設計の考え方や社会保障政策の経済活動への影響についても議論するが、生活困窮者自立支援など個別制度の詳細に踏み込んだ分析はここでは取り扱わない。（ただし受講生の希望があれば、ある程度これを考慮したい。）	
履修上の留意事項： 輪読が中心となる。積極的に参加すること。 受講生の理解度や興味関心を考慮しながら授業を進めるので、欠席は極力避けること。マクロ経済学・ミクロ経済学の基礎的な知識を前提にしているので、理解が難しい箇所については学部のテキストなどを復習して欲しい。実証分析の例を取り上げる可能性もあるため、計量経済学（最低でも回帰分析の基礎）の知識があることが望ましい。 なお、これらの内容およびテキストについては受講生の希望をある程度考慮したいと考えている。<u>受講を希望する場合には、事前にメールで問い合わせること。</u>	
教科書・参考書（参考文献）	
教科書 1 書名：経済学で考える社会保障制度 著者／編者：安岡匡也 出版社：中央経済社 出版年：2021年（第2版）	書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：
教科書 2 書名：社会保障の数量分析 著者／編者：吉田有里 出版社：清文社 出版年：2017年	書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：
参考書 1 書名：社会保障の経済学 第4版 著者／編者：小塩隆士 出版社：日本評論社 出版年：2013年	書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：
評価方法及び判定基準： 授業内の課題（平常点）50点、最終レポート50点の計100点で評価する。 Aは80点以上、Bは70点以上、Cは60点以上、Fは60点未満とする。	
授業目標及び進め方： 授業の目標は、概要にあるとおり。 授業は、テキストおよび先行研究の輪読を中心に進めるが、必要に応じて講義をおこなうこともある。	

第 1 回	テーマ：社会保障の考え方（１） 内 容：社会保障とは何か 教科書／参考書 教科書 1 第1章 配布資料
第 2 回	テーマ：社会保障の考え方（２） 内 容：政府の介入が必要とされる理由、負担と給付のあり方 教科書／参考書 教科書 1 第1章 配布資料
第 3 回	テーマ：社会保障の考え方（３） 内 容：財源調達の経済分析 教科書／参考書 教科書 1 第18章
第 4 回	テーマ：統計からみた社会保障（１） 内 容：国民経済計算、マクロ統計からみた日本の社会保障 教科書／参考書 配布資料
第 5 回	テーマ：統計からみた社会保障（２） 内 容：日本の所得格差、再分配後の所得格差 教科書／参考書 教科書 1 第17章
第 6 回	テーマ：日本の社会保険（１） 内 容：公的年金（１） 教科書／参考書 教科書 1 第2～3章
第 7 回	テーマ：日本の社会保険（２） 内 容：公的年金（２） 教科書／参考書 教科書 1 第3～4章
第 8 回	テーマ：日本の社会保険（３） 内 容：医療保険（１） 教科書／参考書 教科書 1 第5～6章
第 9 回	テーマ：日本の社会保険（４） 内 容：医療保険（２） 教科書／参考書 教科書 1 第6～7章
第10回	テーマ：日本の社会保険（５） 内 容：介護保険 教科書／参考書 教科書 1 第8～9章
第11回	テーマ：日本の社会保険（６） 内 容：雇用保険 教科書／参考書 教科書 1 第12章
第12回	テーマ：そのほかの社会保障制度（１） 内 容：生活保護と就労支援 教科書／参考書 教科書 1 第10～11章
第13回	テーマ：そのほかの社会保障制度（２） 内 容：育児支援① 教科書／参考書 教科書 1 第13～14章
第14回	テーマ：そのほかの社会保障制度（３） 内 容：育児支援② 教科書／参考書 教科書 1 第15章
第15回	テーマ：まとめ 内 容： 教科書／参考書